

教科名		保健体育		科目名		保健	
使用教科書・使用教材				担当教員			
大修館書店「現代高等保健体育」 ノート プリント 資料等							
学年		1年		授業形態		必修	
単位数		1		授業時数		39	
学習目標		①自己の能力に応じて運動技能を高めるなど、運動に親しむための学び方を修得させる。 ②健康に関連する環境・食品の問題や働くことと健康との関係について理解を深める。					
授業内容概要	学期	単元名・学習内容				学習方法・留意事項・具体的な学習目標等	
	一期	1. オリエンテーション 2. 私たちの健康のすがた 3. 健康の考え方と成り立ち 4. 健康に関する意思決定・行動選択 5. 健康に関する環境づくり 6. 生活習慣病とその予防 7. 食事と健康 8. 運動と健康 9. 日常的な応急手当				・学習方法：teamsやformsのオンライン活用。現代高等保健体育改訂版、補助プリント、グループワーク ・健康水準の向上や疾病構造の変化は、個人や集団の健康についての考え方やその対策に変化をもたらしている。このことを生活の質や生きがいを重視する健康の考え方、健康のための個人の実践力の育成とそれを支える環境づくりを重視するヘルスプロモーションの考え方を理解させる。 ・健康を保持増進するためには、適切な食事、運動、休養および睡眠など、健康的な生活習慣が必要であることを理解させる。 ・薬物乱用による心身の健康や社会に及ぼす影響について理解させ、薬物乱用を決してしないことが必要であることを理解させる	
	二期	10. 休養・睡眠と健康 11. 喫煙と健康 12. 飲酒と健康 13. 薬物乱用と健康 14. 感染症とその予防 15. 性感染症・エイズとその予防 16. 応急手当の意義とその基本 17. 心配蘇生法の原理とおこない方				・学習方法：現代高等保健体育改訂版、補助プリント、グループワーク ・医薬品の有効性や副作用及び正しい使用方法について理解させる。 ・エイズや結核など感染症に関するさまざまな問題が起こっていることと、その予防には社会的な対策とともに、個人の適切な行動が必要であることを理解させる。 ・応急手当の手順や方法と心肺蘇生法の原理や方法について理解させ、実践できるようにする。	
	三期	18. 欲求と適応機制① 19. 欲求と適応機制② 20. 心身の相関とストレス 21. ストレスへの対処 22. 自己実現 23. レポート作成① 24. レポート作成②				・学習方法：現代高等保健体育改訂版、補助プリント、グループワーク ・健康を保持増進するためには、適切な意志決定や行動選択が必要であることを理解させる。 ・現代の高校生に関連の深い欲求やストレス、心身相関、自己実現について理解させ、「メンタルヘルス講習会」を実施し、心と体の健康について理解を深め1年間の保健の授業内容を各自で総括させる。	
評価の観点と方法		学期末テストでの結果と授業での積極性や態度など日頃の取り組みなどを考慮して評価する。					

<table border="1"> <tr> <td>教科名</td> <td>保健体育</td> <td>科目名</td> <td>保健</td> </tr> <tr> <td colspan="2">使用教科書・使用教材</td> <td colspan="2">担当教員</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;"> 大修館書店「現代高等保健体育」 ノート プリント 資料等 </td> </tr> </table>		教科名	保健体育	科目名	保健	使用教科書・使用教材		担当教員		大修館書店「現代高等保健体育」 ノート プリント 資料等				<table border="1"> <tr> <td>学年</td> <td>授業形態</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>必修</td> </tr> </table>		学年	授業形態	2年	必修
教科名	保健体育	科目名	保健																
使用教科書・使用教材		担当教員																	
大修館書店「現代高等保健体育」 ノート プリント 資料等																			
学年	授業形態																		
2年	必修																		
		<table border="1"> <tr> <td>単位数</td> <td>授業時数</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>39</td> </tr> </table>		単位数	授業時数	1	39												
単位数	授業時数																		
1	39																		
学習目標		①自己の能力に応じて運動技能を高めるなど、運動に親しむための学び方を修得させる。 ②健康に関連する環境・食品の問題や働くことと健康との関係について理解を深める。																	
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容	学習方法・留意事項・具体的な学習目標等																
	一学期	1. オリエンテーション 2. 思春期と健康 3. 性意識と性行動の選択 4. 結婚生活と健康 5. 妊娠・出産と健康 6. 家族計画と人工妊娠中絶 7. 加齢と健康 8. 高齢者のための社会的とりくみ	・学習方法：teamsやformsのオンライン活用。現代高等保健体育改訂版、補助プリント、グループワーク ・私たちの体と心は、年齢と共に変化している。また、健康のために私たちや社会がすべきことも、それにとまって変化している。 ・思春期における体の発達、行動面・心理面の特徴を理解させる。思春期から中高年期までの健康に関わることやそれぞれの段階で必要になることを学び、また保健・医療サービスの活用のしかた等を理解させる。																
	二学期	10. 休養・睡眠と健康 11. 喫煙と健康 12. 飲酒と健康 13. 薬物乱用と健康 14. 感染症とその予防 15. 性感染症・エイズとその予防 16. 応急手当の意義とその基本 17. 心配蘇生法の原理とおこない方	・学習方法：現代高等保健体育改訂版、補助プリント、グループワーク ・自然環境や社会の制度や活動などが、「私たちが健康で生きていく」ためには深く関わっており、また、個人の努力とが組み合わせあって健康が実現することを理解させる。																
	三学期	18. 欲求と適応機制① 19. 欲求と適応機制② 20. 心身の相関とストレス 21. ストレスへの対処 22. 自己実現 23. レポート作成① 24. レポート作成②	・学習方法：現代高等保健体育改訂版、補助プリント、グループワーク ・健康を保持増進するためには、適切な意志決定や行動選択が必要であることを理解させる。 ・現代の高校生に関連の深い欲求やストレス、心身相関、自己実現について理解させ、「メンタルヘルス講習会」を実施し、心と体の健康について理解を深め1年間の保健の授業内容を各自で総括させる。																
評価の観点と方法		学期末テストでの結果とレポート点、授業での積極性や態度など日頃の取り組みなどを考慮して評価する。																	

教科名	保健体育	科目名	体育	学年	授業形態
使用教科書・使用教材			担当教員	1年	必修
大修館書店「現代高等保健体育」				単位数	授業時数
				2	78
学習目標	仲間との交流を深めながら、個人やグループの課題に対して考え、修正させる。 また、生徒同士でも教えあい、目標にむかって工夫させる。				
授業内容概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等	
	一学期	1. オリエンテーション 2. 小山台体操 3. スポーツテスト 4. 前期種目（前半） ①陸上（ハードル走、走り幅跳び） ②器械体操 ③バスケットボール ④バレーボール ⑤ラグビー 5. 水泳		・学習方法：対面授業、teamsオンライン授業 ・体育科の指導目標や内容を理解し、よりよい授業を目指す。 ・小山台高校に受け継がれてきた体操を習得させ、健康や安全に留意させる。 ・新体力テストの結果を生徒に伝え、個々の体力向上に向けた指導の充実を図り、学校行事や班活動などの様々な教育活動での指導に生かす。 ・クロールと平泳ぎを習得させ、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりできるようにする。	
	二学期	6. 前期種目（後半） ①陸上（ハードル走、走り幅跳び） ②器械体操 ③バスケットボール ④バレーボール ⑤ラグビー 7. 後期種目 ①陸上（ハードル走、走り幅跳び） ②器械体操 ③バスケットボール ④バレーボール ⑤ラグビー		・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ・技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、新たに挑戦する技の名称や行い方、課題解決の方法を理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組みを工夫できるようにしよう。 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを深く味わい、陸上競技の学習に主体的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	
	三学期	8. 縄跳び 9. 持久走		・小山台高校に受け継がれてきた独自の縄跳びを習得させ、健康や安全に留意させる。また、各種の検定に挑戦させ、主体的に取り組みさせる。 ・持久走については個人の記録に挑戦させる。	
評価の観点と方法	取り組みの姿勢、個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。 さらにチームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。				

教科名	保健体育		科目名	体育	学年	授業形態
使用教科書・使用教材				担当教員	2年	必修
大修館書店「現代高等保健体育」					単位数	授業時数
					3	117
学習目標	種目特性を理解し、個人技能・集団技能を身につけ、互いに協力して高いレベルのゲームが楽しめるようにする。					
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容			学習方法・留意事項・具体的な学習目標等	
	一学期	1. オリエンテーション 2. 種目 ①剣道 ②ダンス ③バスケットボール ④バレーボール ⑤サッカー ⑥テニス 3. スポーツテスト 4. 水泳			・学習方法：対面授業、teamsオンライン授業 ・体育科の指導目標や内容を理解し、よりよい授業を目指す。 ・新体力テストの結果を生徒に伝え、個々の体力向上に向けた指導の充実を図り、学校行事や班活動などの様々な教育活動での指導に生かす。 ・バタフライと背泳ぎを習得させ、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりできるようにする。	
	二学期	5. 種目 ①剣道 ②ダンス ③バスケットボール ④バレーボール ⑤サッカー ⑥テニス			・記録の向上や競争の楽しさや喜びを深く味わい、各種目に主体的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。また互いに協力して授業を展開できる能力を高めていく。	
	三学期	6. 縄跳び 7. 持久走 8. 種目			・小山台高校に受け継がれてきた独自の縄跳びを習得させ、健康や安全に留意させる。また、各種の検定に挑戦させ、主体的に取り組みさせる。 ・持久走については個人の記録に挑戦させる。 ・剣道においては、10名程度のグループを作りリーグ戦を実施。ダンスにおいてはそれぞれのグループの発表課題の表現力を高めていく。そして剣道大会、ダンス発表会に向けて能力を高めていく。	
評価の観点と方法	取り組みの姿勢、個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。さらにチームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。					

教科名	保健体育		科目名	体育	学年	授業形態
使用教科書・使用教材				担当教員	3年	必修
大修館書店「現代高等保健体育」					単位数	授業時数
					3	117
学習目標	リーダーを中心に、仲間と協力しながら目標を決め、技術を高め、楽しくゲームが進行できるようにする。					
授業内容の概要	学期	単元名・学習内容			学習方法・留意事項・具体的な学習目標等	
	一学期	1. オリエンテーション 2. 小山台体操 3. スポーツテスト 4. 前期種目 ①卓球 ②バトミントン ③バスケットボール ④バレーボール ⑤テニス ⑥サッカー 5. 水泳			・学習方法：対面授業、teamsオンライン授業 ・体育科の指導目標や内容を理解し、よりよい授業を目指す。 ・新体力テストの結果を生徒に伝え、個々の体力向上に向けた指導の充実を図り、学校行事や班活動などの様々な教育活動での指導に生かす。 ・個人メドレーに挑戦させ、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりできるようにする。	
	二学期	6. 中期種目 ①卓球 ②バトミントン ③バスケットボール ④バレーボール ⑤テニス ⑥サッカー 7. 後期種目 ①卓球 ②バトミントン ③バスケットボール ④バレーボール ⑤テニス ⑥サッカー			・個人の適正に合わせた種目を選択し、合理的な実践を通して運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯スポーツの形成に役立たせる。	
	三学期					
評価の観点と方法	取り組みの姿勢、個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。 さらにチームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。					